

中国(China)史書への倭の登場

(1) 時期: 1 紀元前 1 世紀

情勢: 2 漢(前漢) の<sub>3</sub>武帝、朝鮮に<sub>4</sub>楽浪郡・真番郡・<sup>げんと</sup>玄菟郡・臨屯郡を設置[前108]

史料: 5 「漢書」地理誌(著者は後漢の班固) …<sub>6</sub>倭人(≡日本)が中国正史に登場

記事: 7 百余国に別れ、<sub>8</sub>定期的に楽浪郡に遣使していた

(2) 時期: 9 紀元後 1 ~ 2 世紀

情勢: 前漢 →<sub>10</sub>新[後8~23] →<sub>11</sub>後漢 …<sub>12</sub>光武帝 が建国[後8年]

史料: 13 「後漢書」東夷伝(著者は宋の<sup>はんよう</sup>范曄: 書かれたのは5世紀)

記事: ①<sub>14</sub>建武中元2(15 5 7)年 倭の<sub>16</sub>奴国 王朝貢 → 光武帝より<sub>17</sub>印綬を受ける

※1784年、<sub>18</sub>志賀島 [福岡]で農夫が<sub>19</sub>金印 を発見

銘文「<sub>20</sub>漢委奴国王」 → 「<sub>21</sub>かんのわのなのこくおう」と読むのが通説

②永初元(<sub>22</sub>107)年 倭国王<sub>23</sub>帥升 等、安帝に<sub>24</sub>生口 (奴隷) 160人を献上

③<sub>25</sub>桓帝・靈帝の時代(<sub>26</sub>2世紀後半)に<sub>27</sub>倭国大乱

※このころ瀬戸内で<sub>28</sub>高地性集落

(3) 時期: 29 3世紀 …楽浪郡・<sub>31</sub>帯方郡(南に設置)を拠点に東方へ進出

情勢: 後漢滅亡[220] →<sub>30</sub>魏・<sub>32</sub>呉・<sub>33</sub>蜀 の分立(三国時代)

史料: 34 「魏志」倭人伝(著者は晋の<sup>ちんじゆ</sup>陳寿, 『三国志』の一つ『魏書』東夷伝倭人の条の通称)

記事: ①大乱 →<sub>36</sub>邪馬台国 を中心に約<sub>37</sub>30の小国の連合

名称: 倭人伝には「邪馬臺(台)国」とあるが、「臺(台)」の誤字とみるのが通説

位置: <sub>38</sub>邪馬台国論争 …<sub>39</sub>近畿(畿内)説、<sub>40</sub>九州説など

→邪馬台国連合の勢力範囲や、のちのヤマト政権との関係が変わる(?)

連合の一国、<sub>41</sub>伊都国に「<sub>42</sub>一大率」という機関を置いて諸国を監察

②景初3[<sub>43</sub>239]年 <sub>44</sub>魏へ遣使 → 「<sub>45</sub>親魏倭王」の称号・<sub>46</sub>金印紫綬・銅鏡百枚

※243年にも遣使 …<sub>47</sub>狗奴国との抗争への援助を求める

③女王<sub>48</sub>卑弥呼 …<sub>49</sub>呪術的・巫女的性格 シャーマン(神意を告げる霊能者)

…倭人伝に「鬼道に事え、能く衆を惑わす」

没後、男王の統治 → 混乱 → 卑弥呼の宗女(一族) <sub>50</sub>壹与 を王に

…<sub>51</sub>男子による世襲王権制が未確立

↳ 266年に晋へ遣使(?)

**ポイント** 小国の王、中国の王朝へ断続的に<sub>53</sub>遣使(朝貢) → 称号を得る(<sub>54</sub>冊封)を受ける)

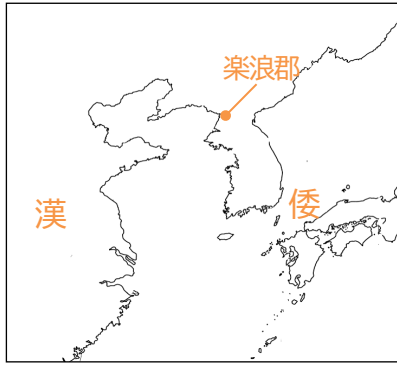
→<sub>55</sub>倭の小国間での地位を高める(中国の権威による正当性の承認)

倭人の世界 (主として倭人伝の記述による)

風俗 南方的 <例>「皆、鯨面文身(=いれずみ) 手で食べる

男：髪はみずら、袈裟衣けさいい 女：髪はうしろゆい、貫頭衣かんとうい

社会 身分秩序の存在 <例><sup>57</sup>大人と<sup>58</sup>下戸、奴隸(生口) <sup>59</sup>刑罰・租税制度の存在



紀元前後の東アジア



3世紀の東アジア

作業 図表33、35、37ページを見て位置を書き込みなさい。



- ①大森貝塚    ②三内丸山遺跡    ③板付遺跡    ④菜畑遺跡    ⑤亀ヶ岡遺跡
- ⑥津雲貝塚    ⑦加曾利貝塚    ⑧鳥浜貝塚    ⑨夏島貝塚    ⑩二上山    ⑪和田峠
- ⑫唐古・鍵遺跡    ⑬吉野ヶ里遺跡    ⑭登呂遺跡    ⑮荒神谷遺跡
- ⑯加茂岩倉遺跡    ⑰砂沢遺跡    ⑱須玖岡本遺跡    ⑲妻木晩田遺跡

正誤問題練習 <センター2009年B本試験、2016年B追試験より>

- X. 『後漢書』東夷伝は、当時の争乱の状況を「倭国大いに乱れ、こもこもあい更相攻伐して歴年主なし」と記している。
- Y. 3世紀に、倭の奴の国王は中国の皇帝から印綬しんじゆを授けられた。

中国(China) 史書への倭の登場

(1) 時期：1紀元前1世紀

情勢：2 \_\_\_\_\_ の<sup>3</sup>武帝、朝鮮に4 \_\_\_\_\_ ・真番郡・玄菟郡・臨屯郡を設置[前108]

史料：5 「漢書」地理誌(著者は後漢の班固) …6 \_\_\_\_\_ 人(≡日本)が中国正史に登場

記事：7 百余国に別れ、8 定期的に楽浪郡に遣使していた

(2) 時期：9紀元後1～2世紀

情勢：前漢→<sup>10</sup>新[後8～23]→<sup>11</sup> \_\_\_\_\_ …<sup>12</sup> \_\_\_\_\_ が建国[後8年]

史料：13 「後漢書」東夷伝(著者は宋の<sup>はんよう</sup>范曄：書かれたのは5世紀)

記事：①<sup>14</sup>建武中元2(<sup>15</sup> \_\_\_\_\_ )年 倭の<sup>16</sup> \_\_\_\_\_ 王朝貢→光武帝より<sup>17</sup>印綬を受ける

※1784年、<sup>18</sup> \_\_\_\_\_ [福岡]で農夫が<sup>19</sup>金印 を発見

銘文「<sup>20</sup> \_\_\_\_\_ 」→「<sup>21</sup>かんのわのなのこくおう」と読むのが通説

②永初元(<sup>22</sup>107)年 倭国王<sup>23</sup> \_\_\_\_\_ 等、安帝に<sup>24</sup> \_\_\_\_\_ (奴隸)160人を献上

③<sup>25</sup>桓帝・靈帝の時代(<sup>26</sup>2世紀後半)に<sup>27</sup>倭国大乱 ※このころ瀬戸内で<sup>28</sup>高地性集落

(3) 時期：293世紀

…<sup>30</sup>楽浪郡・<sup>31</sup> \_\_\_\_\_ (南に設置)を拠点に東方へ進出

情勢：後漢滅亡[220]→<sup>32</sup> \_\_\_\_\_ ・<sup>33</sup>呉・<sup>34</sup>蜀 の分立(三国時代)

史料：34 「魏志」倭人伝(著者は晋の<sup>ちんじゅ</sup>陳寿、『三国志』の一つ『魏書』東夷伝倭人の条の通称)

記事：①内乱→<sup>36</sup> \_\_\_\_\_ を中心に約<sup>37</sup>30の小国の連合

名称：倭人伝には「邪馬壹(壹)国」とあるが、「臺(台)」の誤字とみるのが通説

位置：<sup>38</sup>邪馬台国論争 …<sup>39</sup>近畿(畿内)説、<sup>40</sup>九州説など

→邪馬台国連合の勢力範囲や、のちのヤマト政権との関係が変わる(?)

連合の一国、<sup>41</sup>伊都国に「<sup>42</sup>一大率」という機関?を置いて諸国を監察

②景初3[<sup>43</sup>239]年 <sup>44</sup>魏へ遣使→「<sup>45</sup> \_\_\_\_\_ 」の称号・<sup>46</sup>金印紫綬・銅鏡百枚

※243年にも遣使 …<sup>47</sup>狗奴国との抗争への援助を求める

③女王<sup>48</sup> \_\_\_\_\_ …<sup>49</sup>呪術的・巫女的性格 シャーマン(神意を告げる霊能者)

…倭人伝に「<sup>50</sup>鬼道に事え、能く衆を惑わす」

没後、男王の統治→混乱→卑弥呼の宗女(一族) <sup>51</sup> \_\_\_\_\_ を王に

…<sup>52</sup>男子による世襲王権制が未確立

↳ 266年に<sup>53</sup>晋へ遣使(?)

**ポイント** <sup>54</sup>小国の王、中国の王朝へ断続的に遣使(朝貢) →称号を得る(<sup>55</sup> \_\_\_\_\_ )を受ける)

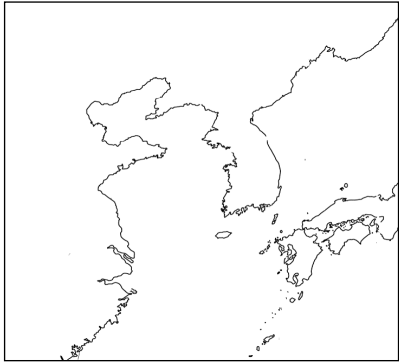
→<sup>56</sup>倭の小国間での地位を高める(中国の権威による正当性の承認)

倭人の世界 (主として倭人伝の記述による)

風俗 南方的 <例>「皆、鯨面文身(=いれずみ) 手で食べる

男：髪はみずら、袈裟衣けさい 女：髪はうしろゆい、<sup>56</sup>貫頭衣かんとうい

社会 身分秩序の存在 <例><sup>57</sup>大人と<sup>58</sup>下戸、奴隸(生口) <sup>59</sup>刑罰・租税制度の存在



紀元前後の東アジア



3世紀の東アジア

作業 『図表』33、35、37ページを見て位置を書き込みなさい。



- ①大森貝塚 ②三内丸山遺跡 ③板付遺跡 ④菜畑遺跡 ⑤亀ヶ岡遺跡  
 ⑥津雲貝塚 ⑦加曾利貝塚 ⑧鳥浜貝塚 ⑨夏島貝塚 ⑩二上山 ⑪和田峠  
 ⑫唐古・鍵遺跡 ⑬吉野ヶ里遺跡 ⑭登呂遺跡 ⑮荒神谷遺跡  
 ⑯加茂岩倉遺跡 ⑰砂沢遺跡 ⑱須玖岡本遺跡 ⑲妻木晩田遺跡

正誤問題練習 <センター2009年B本試験、2016年B追試験より>

- X. 『後漢書』東夷伝は、当時の争乱の状況を「倭国大いに乱れ、<sup>こにもあひ</sup>更相攻伐して<sup>あひ</sup>歴年主なし」と記している。  
 Y. 3世紀に、倭の奴の国王は中国の皇帝から印綬を授けられた。